

「生物多様性ふくおか戦略（仮称）」の検討の進め方

1. 戦略策定の検討方針

<生物多様性の意義>

- 福岡市は、古くは、弥生時代の水田耕作に始まり、大陸との交易を盛んにしながら、今日わが国有数の商業都市として発展するまで、有史以来連綿と人は多様な環境に適応し、また、使いこなしながら生活してきた。
- この営みの中で、人が自然に手を加えることによって、安全で住み良い生活環境を創造し、同時に、伝統的な知識や固有の文化、美しい景観が育まれてきた。
- 現在福岡市に住んでいる人の 9 割が住みやすいと実感しており、その理由として「安価でおいしい食べ物」「自然環境の豊かさ」をあげている。これらは、いずれも生態系サービスから提供されているものであり、生物多様性の豊かさが福岡市の魅力と支える重要な要素となっていることが伺える。

<生物多様性地域戦略策定のねらい>

- 現在の福岡市の個性・魅力は、その多くが生物多様性から受ける生態系サービスによって支えられてきたものであり、これら生態系サービスの持続的利用を支える生物多様性を維持・向上していくことは、都市の魅力を増進していくことにも繋がっていくものと考えられる。
- 策定を行う「生物多様性ふくおか戦略（仮称）」は、上記の事項を踏まえ、福岡市における生物多様性のあり方を考え、将来にわたって継続的にその恵みを楽しむための市域ぐるみの行動計画を策定するものであり、もって、**福岡市の活力の維持、向上に資するための長期的な成長戦略**とするものである。

①市域の生物多様性と生態系サービスに関する過去から現在への変遷に着目した分析

②市域の生物多様性と生態系サービスの変化の要因分析・それを踏まえた課題の整理

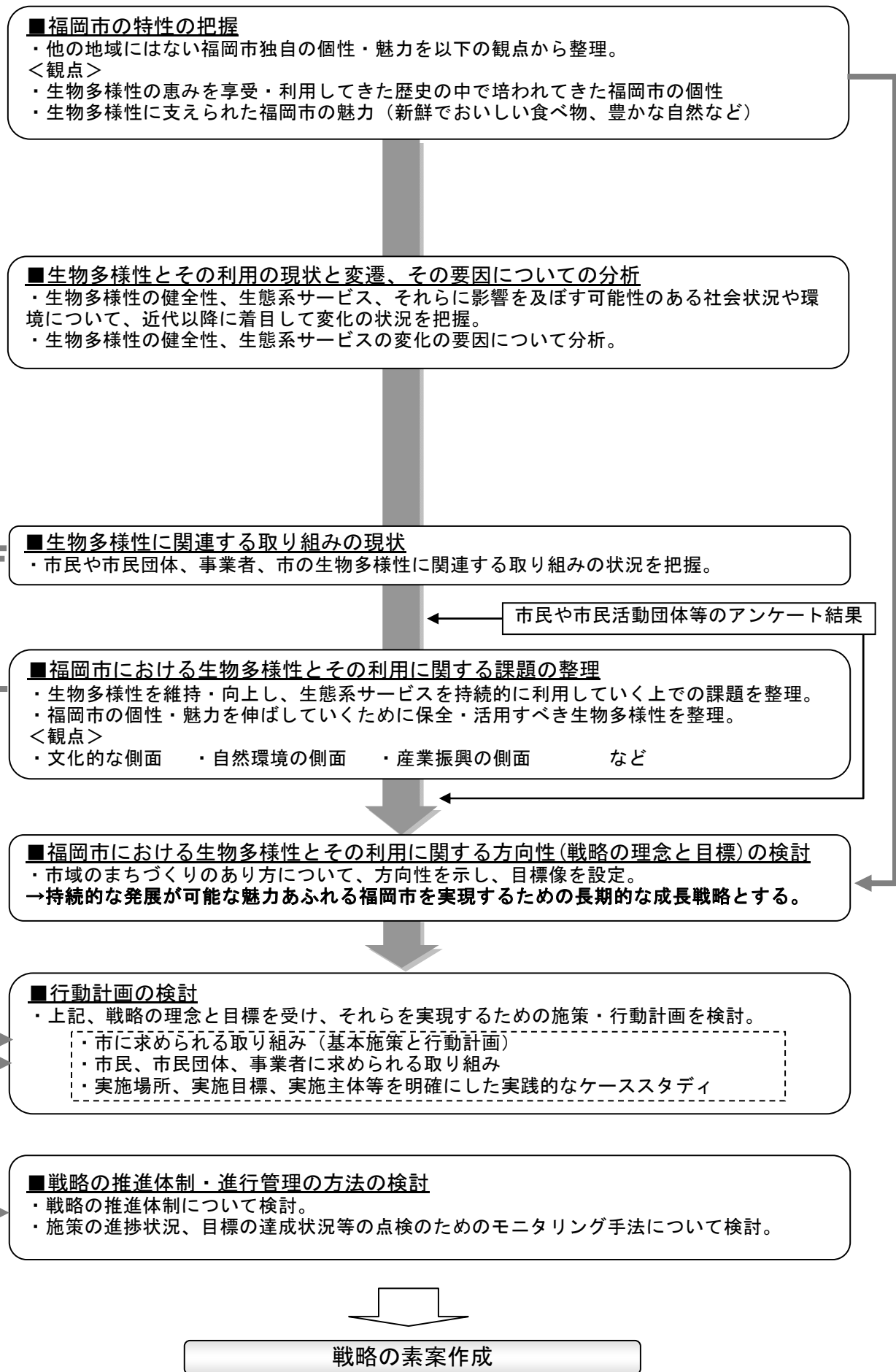
③戦略の目標像の設定

④社会全体で連携した取り組み方策の検討

⑤福岡市の活力の維持・向上を目指す成長戦略の一環として、戦略を策定

2. 検討の進め方

<戦略策定にあたっての考え方>



<委員会での検討事項>

